

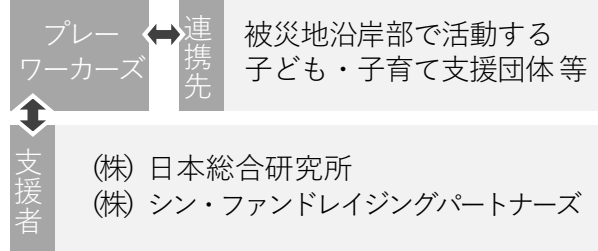
(一社) プレーワーカーズ [宮城県名取市]

被災沿岸部が一丸となって、震災後の子どもの育ちを見守るためのネットワーク構築

取組背景・地域課題

- プレーワーカーズは2015年の設立以来、子どもが自由に遊び育つ環境づくりの専門家として、**子どもの居場所・遊び場づくり、被災地の子ども・子育て支援団体の設立・運営支援**等に幅広く従事。
- 震災から9年が経ち、復興・創生期間の先を見据えて、**子どもの育ちを見守る地域の仕組みを根付かせる**ことが求められている。そのために、**被災地の団体同士の連携**や、**協力者・理解者の輪の拡大**、団体としての**経営の持続性強化**が重要な課題となっている。

取組体制



取組の目的と内容

子ども・子育て支援団体の地域をまたいだネットワーク強化と、地域の協力者・理解者の発掘を通じて地域一丸となって震災後の子どもの育ちを見守るための環境づくりを目指す

1 復興・創生期間以降の子ども・子育て支援を考える場づくり

- 今後の子ども・子育て支援のあり方の検討のため、被災地の子ども・子育て支援に関わる団体へのインタビューを行い、その結果をまとめた冊子を制作。座談会も開催し相互の連携強化につなげる。

2 子ども・子育て支援の輪を広げる講座・研修会の開催

- 子ども・子育て支援に関わるボランティアの方々の知見・スキル向上や、地域内外の新たな協力者・理解者の発掘に向けて、講座・研修会を開催。

3 生業事業の再構築～持続可能な生業事業～

- 団体が今後も継続的に活動を続けていくために、将来を見据えて自団体のあり方を再定義する。
- 再定義した内容を基に、ファンドレイジングの方針を策定し、具体的なアクションにつなげる。

取組のポイント



座談会開催の様子

子ども・子育て支援団体による座談会を開催！

- 子ども・子育て支援団体の抱える問題意識・課題には共通点も多く、相互に連携することがメリットとなる。市町村の枠に捉われない団体間ネットワークを作り、今後の東北の子どもの環境の改善に繋げていくため、東北の子ども・子育て支援団体による座談会を開催した。



連続講座配信の様子

子ども・子育て支援の輪を広げる連続講座の開催！

- 今後の各子供・子育て支援団体の活動にとっての助けとなることを期待して、プレーワーカーズの蓄積してきたプレーワークに関する知見を、子供と関わりのある一般市民やボランティア志望者へ敷衍するために連続講座を開催した。



研修での話し合いの様子

団体理念の整理を経て具体的なアクションへ！

- 組織内で明確な共有がなされていなかった団体理念を、明文化して整理することで、具体的な活動目標を設定することが可能となり、ファンドレイジング方針や次年度以降の活動計画の策定へ繋がった。

取組の主な成果

- 団体の本来の目的に立ち返っての具体的な**活動計画を策定**をする事が出来た。
- 上記に伴い、団体の活動維持に必要であった**ファンドレイジング**も一部実施する事が出来た。
- 子ども・子育て支援団体へのヒアリングや、シンポジウム、座談会等を通じ、特に**東北内の子ども・子育て支援団体や行政との繋がり**をつくる事ができた。また、各町村や県としての子ども・子育て支援の方向性を把握する事ができた。



連続講座開催の様子（Zoom画面）

支援対象団体担当者からの声

“ 団体立ち上げ当初から、理事メンバーの中では、地域課題や事業・団体の在り方について議論してきましたが、第三者の方が入ってくれたことで、これまでにない具体的な目標設定ができ、次年度以降の計画が立てやすくなりました。また、座談会や連続講座などの企画についてもサポートしてくれたので、少ないメンバーでやりくりしている事業も円滑に進み、とても助かりました。震災から10年、宮城に根付き活動を発展させたいと考えています。 ”